

みなさんへ

主催 新潟教区教化委員会未来構想部門

ほうおんこう 子ども報恩講2023 あらい



とき・ところ

11月3日(金・祝) ^{あらいべついでん}新井別院 妙高市下町 5-3
(025)-572-2519

① お参り ^{しんらん}親鸞さまにこれから^{つど}集いをしますとお参りします。

② たのしいつどい

^{かみしほり}紙芝居や^{えほん}絵本の^よ読み聞かせ、

みんなのできるゲームなど

引き続き 「^{らんおん}鸞恩くんと^{あそ}遊ぼう」

^{けいひん}景品をゲットしよう！

☆ ^{えんじ}園児による^{かいがてん}絵画展 ☆

大谷保育協会高田支部加盟園の園児の皆さんが描いた元気いっぱい
の絵画をみにきてください！

★とき 10月末日～11月4日★ところ 新井別院にて

〈問い合わせ先〉高田教務事務所

でんわ:025-524-3913(松村)

^{うらめん}※裏面につづく

にっ てい 日程 2023

11月3日(金・祝)新井別院

9:00 ^{ちごぎょうれつていぎしゅっぱつ} 稚児行列庭儀出発 ^{なかまちかいかん} 中町会館

10:00 ^{ちごぎょうれつあらいべついん} 稚児行列新井別院 ^{ちゃく} 着 ^{かりほんどう} 仮本堂

10:00 ^{しゅうごう} 集合 ^{ほんどう} 本堂

10:05 ^{あいさつ} あいさつ ^{じきどう} お食堂

^{ひきつづき} 引き続き ^{たの} 楽しいつどい ^{じきどう} お食堂

^{かみしばい} 紙芝居や ^{えほん} 絵本の ^{よみ} 読み聞かせ、

みんなのできるゲームなど

^{らんおん} 「^{あそ} 鷺恩くんと遊ぼう」

11:00 ^{かいさん} 解散 ^{ひと} おうちの人と ^{みせ} お店をみてまわろう!



れん
蓮ちゃん



別院からの各種ご案内

2023年10月号

お取り越し参拝×三条市内産業観光

年に一度の大法要、
三条別院お取り越しを体験し、
三条の今と自分を見つめる旅

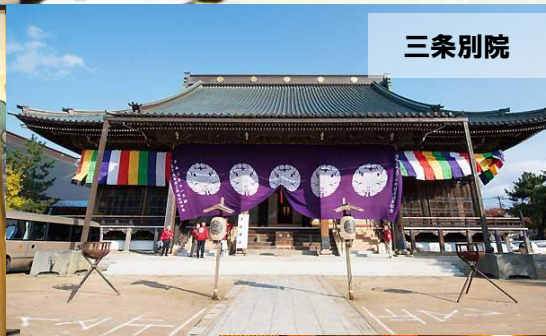
2023年11月6日(月)~7日(火)

お取り越し報恩講(入楽法要)

祖師前



三条別院



三条市立図書館まちやま



露店



割烹松木屋



シアターサンジョーゴボー



御取越御膳



SUWADA



マルナオ



お取り越し参拝×三条市内産業観光ツアーのご案内

三条別院お取り越し報恩講（2023年11月5日から8日）期間中、6日-7日で参拝ツアーを計画しました。

お取り越しの日程、ツアーの詳細は報恩講特設サイト（三条別院 HP からリンク）をご覧ください。

旅行期間	2023年11月6日（月）～2023年11月7日（火）1泊2日
参加費用	33,000円（税込）4食付（1日目昼・夜、2日目朝・昼） ※キャンセル料金 21日前まで無料、20日～8日前まで20%、7～2日前まで30% 当日（旅行開始前）50%、旅行開始後及び無連絡不参加 100%
締切日	2023年10月20日（金）
募集人員	40名（最少催行人員20名※満たない場合は中止）
宿泊場所	越前屋ホテル TEL：0256-32-6221

日次	月日	行程
1日目	11/6 (月)	【お取り越し報恩講参拝】 高田別院（9:30）==上越高田 IC==栄 PA（10:40）==三条燕 IC==三条別院（11:30） （昼食・御取越御膳）…… 絵解き法話・井野優介氏 （12:50）…… 中速夜法要 （14:00） 御伝鈔（下巻） 拝読（15:00）……買い物（旧御堂にてごぼさま土産）…… ……越前屋ホテルチェックイン（16:10）…… 割烹松木屋 （夕食、松花堂弁当）（17:50）… 三条別院 シアターサンジョーゴボー 宮沢賢治原作「よだかの星」鑑賞 （19:10）…… 終了後各自越前屋ホテル（20:30）……銭湯泉乃湯（希望者のみ、別途入浴料がかかります） ※1日目真宗大谷派僧侶の方は速夜法要参拝で出仕も可能です。
2日目	11/7 (火)	【三条市産業観光ツアー】 NHK 放送 プラタモリ に出演の三条市学芸員「藤野哲寛」氏がバスに同乗されてご案内。 三条別院（7:00） おあさじ （希望者のみ）……越前屋ホテルで朝食…… 三条市立図書館 複合施設まちやま・三条鍛冶道場・三条市歴史民俗産業資料館 （9:30～10:30）== スノーピーク・フィールド・スイート・スパ （11:10）（昼食・入浴）== マルナオ（株） （13:25）== 諏訪田製作所 （14:00）==三条別院（15:00）==三条燕 IC== 大瀧 PA（16:30）==上越高田 IC（16:55）==高田別院（17:05）

※発着日時、行程内容、及び交通機関は変更になる事があります。

問合せ	真宗大谷派 三条別院 三条市本町2-1-57 TEL：0256-33-0007 FAX：0256-33-2847 E-mail：sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp 報恩講特設サイト https://sanjobetsuin.or.jp/hoonko/
-----	--

キリトリ

フリガナ 氏名		性別	男・女	生年月日(西暦)	年 月 日
住所	〒 -			電話番号 メール	- - @
所属寺	組	寺	出仕※僧侶のみ	出仕する	出仕しない
希望乗降場所に○をお付けください	高田別院 ・ 三条別院 ※料金は同額です				
特記事項	※持病・体調等や同室（ツイン）希望などの留意点がございましたらご記入ください。				

二〇二三年十月・十一月・十二月

定例法話

講題.. 女人成仏と変成男子

たとい我、仏を得んに、十方無量不可思議の諸仏世界に、それ女人あつて、我が名字を聞きて、歓喜信樂し、菩提心を發して、女身を厭惡せん。壽終わりての後、また女像とならば、正覺を取らじ。

(『仏説無量壽經』卷上、『真宗聖典』二二頁)

阿弥陀如来は仏と成るために四八の願いを誓われた。これを本願と呼ぶ。そのうち三五番目の願いが右にある文章である。この願文は「女性差別」ではないのかと言われ、長年問題視されてきた。なぜ三五願が誓われなければならなかったのか。そのころは何か。教学研究研究所研究員であった中山善雄氏に、全三回でお話いただく。

真宗大谷派 三条別院

【全三回日程】

10.13^金 / 11.13^月 / 12.13^水

日程：全日13:30~14:30

お昼からの法話会です。お気軽にお立ち寄りください。

会場は三条別院旧御堂、聴講無料

〒955-0071 三条市本町 2-1-57

TEL:0256-33-0007 FAX:0256-33-2847

【講師】

なかやま よしお
中山 善雄 氏

長岡市寶國寺
(新潟教区第14組)
真宗大谷派擬講、
元大谷専修学院指導補、
元真宗大谷派教学
研究所研究員



三条別院 おみがき奉仕研修

2023年

第1回 10月 2日(月) 9:00~12:00

第2回 10月11日(水) 9:00~12:00

第3回 10月18日(水) 9:00~12:00

※事情により変更の可能性がございます

本年も11月5日から8日まで、
三条別院お取り越し報恩講が執行されます。
それに先立ち、仏具のおみがきを開催いたします。
皆さん、一緒に報恩講事前行事に参加しませんか。

場 所 新潟教区同朋会館、三条別院本堂(三条市本町2-1-57)

内 容 仏具のおみがき

参加費 無料(昼食は三条別院がご用意いたします)

持ち物 念珠、勤行本、同朋手帳(お持ちの方)、清掃のできる服装

申込方法 **各日の3日前まで**に別院宛にて電話(0256-33-0007)、

またはメール(sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp)にて担当:松浦までお申し

込みくださいますようお願いいたします。

日程表

8:30	9:00	12:00
	受付 開 会 式	おみがき 昼食



お取り越し報恩講に向けて

11月5日から8日まで、三条別院お取り越し報恩講が執行されます。
報恩講をお迎えするにあたり、事前に内陣所作・出退作法について詳しい
講義・習礼を開催いたします。みなさま是非ご参加ください。

開催概要

開催日：2023年10月31日(火)

場 所：三条別院

講 師：安藤栄寿氏(第21組勝樂寺住職・元本山定衆)

内 容：下臈出仕・退出・和讃本の扱いを中心とした
内陣所作・出退作法

※1 はじめて出仕される方も安心してご参加ください。

※2 院議会議員・崇敬区内教区会議員の方に報恩講への
出仕をお願いしております。是非ご参加ください。

時 間：15:00 開会式
講 義
16:00 着替え
16:10 実 技
17:00 閉会式



持ち物：『真宗の儀式』(東本願寺出版部)、筆記用具

服 装：間衣、輪袈裟、小念珠(講義)

白服・裳附・五条袈裟・差貫・中啓・半装束念珠(実技)

※装束は報恩講当日着用のもの。衣体の確認を希望される方は、事前にご連絡ください。

申 込：10月30日(月)までに三条別院(Tel: 0256-33-0007/メール: sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp)までご連絡ください。当日参加も可能です。

報恩講儀式作法講習会

2023年11月27日(月)～29日(水)

真宗本廟(東本願寺)

御正忌報恩講 団体参拝 ～坂東曲に会う～

日次	月日	行程
1日目	11/27 (月)	新潟駅(南口)====各乗車場所====南条SA(昼食弁当&飲み物積込)==== 6:00 (新潟駅南口・三条燕IC・上越IC等、希望場所に停車します。) 12:00 12:10 ====大津SA====西本願寺・龍谷ミュージアム====日昇館 13:35 13:50 14:20 17:00 17:20 尚心亭(泊)
2日目	11/28 (火)	日昇館 ===== 東本願寺 <結願日中参拝> ===== 尚心亭 8:00 8:25 13:00 ====レストラン嵐山・嵐山散策(昼食・買物)====琵琶湖畔 13:20 15:30 16:50 おごと温泉(泊) ※2日目日中参拝で出仕も可能です。
3日目	11/29 (水)	琵琶湖畔 ===== 比叡山・延暦寺(根本中堂) ===== おごと温泉 8:00 8:40 10:10 ====九谷満月(昼食)====各降車場所====新潟駅(南口) 13:20 14:10 19:15

※諸事情により、行程を変更する場合がございます。

真宗本廟（東本願寺）御正忌報恩講 団体参拝のご案内

本年も11月21日～28日まで真宗本廟（東本願寺）にて、御正忌報恩講が厳修されます。三条別院では28日の御満座に向けて、4年ぶりの団体参拝を計画しております。

今回は御本山の参拝に加え、かつて親鸞聖人も修行された比叡山・延暦寺の根本中堂にも参拝致します。参加ご希望の方は申込欄にもれなくご記入の上、(保険の関係上)当別院までお申し込みください。皆様お誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください。

記

旅行期間	2023年11月27日(月)～2023年11月29日(水) 3日間	
参加費用	68,000円(税込)	
	※キャンセル料金 21日前まで無料、20日～8日前まで20%、7～2日前まで30% 当日(旅行開始前)50%、旅行開始後及び無連絡不参加100%	
締切日	2023年11月17日(金)	
募集人員	45名(最少催行人員35名)	
宿泊場所	○ 11月27日(水) 日昇館尚心亭 TEL:075-761-8111	
	○ 11月28日(木) 里湯物語 雄山荘 TEL:077-578-1144	
問合せ	真宗大谷派 三条別院 三条市本町2-1-57 TEL:0256-33-0007 FAX:0256-33-2847 E-mail:sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp	



坂東曲

【坂東曲(ばんどうぶし)】(28日)

坂東曲は、第3代覚如上人の頃に勤められた関東の同行にその源流があるとされており、念仏と和讃を繰り返し、体を力強く前後左右に動かして拍子を取りながら勤まるものです。親鸞聖人の関東巡教の際、船中で暴風に会い、同船の人々とともに揺られつつ、声明念仏したことに由来するともいわれています。現在では真宗大谷派のみに伝えられており、真宗本廟報恩講における結願日中けちがんにちゅう(御満座)でのみ勤められています。

【比叡山・延暦寺 根本中堂】(29日)

延暦寺は、最澄が延暦7年(785年)に小堂を創建したのが始まりとされます。現在の根本中堂は、徳川三代将軍家光の命によって、寛永19年(1641年)に再建されたものです。根本中堂をはじめ、多くの建造物や法宝物が国宝や国指定の重要文化財に指定されています。



根本中堂

キリトリ

フリガナ 氏名		性別	男・女	生年月日(西暦)	年 月 日
住所	〒 -			電話番号	
所属寺	組	寺	出仕	出仕する	出仕しない
希望乗降場所に○をお付けください	新潟駅南口 巻・潟東 IC 三条燕 IC 長岡 IC 上越 IC (その他希望 IC)				
特記事項	※持病・体調等や同室希望などの留意点がございましたらご記入ください。				

2023年度 高田別院「報恩講」日程表

10月5日(木)～8日(日)

【日 程】

日	刻 限	法 要	場 所
5日(木)	13:00	納骨堂法要	納骨堂
	13:30	初逮夜 おつとめ(楽) 帰敬のつどい	本 堂
	引 続	法話 梅澤未有氏(第1組光照寺)	//
	引 続	初夜	//
6日(金)	7:00	初晨朝 おつとめ	本 堂
	引 続	法話 内山真明氏(第4組養性寺)	//
	10:00	初日中 おつとめ(楽)	//
	引 続	法話 井上一英氏(高田13組福浄寺)	//
	13:00	納骨堂法要	納骨堂
	13:30	中逮夜 おつとめ(楽)	本 堂
	引 続	法話 井上一英氏	//
	引 続	御伝鈔拝読	//
7日(土)	7:00	中晨朝 おつとめ	本 堂
	9:00	高田大谷保育園報恩講	//
	10:00	中日中 おつとめ(楽) 得度式受式者の集い	//
	引 続	法話 井上一英氏	//
	13:00	納骨堂法要	納骨堂
	13:30	結願逮夜 おつとめ(楽) 御参修	本 堂
	引 続	帰敬式	//
	引 続	法話 井上一英氏	//
8日(日)	7:00	結願晨朝 おつとめ	本 堂
	9:30	納骨者追弔法要(併修納骨墓改築法要)	//
	10:30	結願日中 おつとめ(楽) 御参修	//
	13:30	公開講演会 荒山 淳氏 (名古屋教区教化センター主幹)	//

【内容詳細】 7・8日 御参修・帰敬式執行御鍵役 宣心院殿

【その他ご案内】

お斎の用意:1食1,500円 *お弁当の形式ですので団体参拝でのご希望の方など
数の多い場合は必ず事前にお申込みください

納骨堂での読経の受付:6・7日9:00～15:30 8日9:00～12:00

*5日午後と8日午後は納骨堂自由参拝のみ可能です

おたや実行委員会による催し(出店・太鼓の演奏ほか):8日終日実施

臨時駐車場:別院より50mほど手前(直江津寄り)に準備します

お問い合わせ 高田別院:025-523-2465

2023年度 高田別院「報恩講」出仕について

今年度の報恩講を下記の通り三昼夜にて厳修致します。何卒御参詣・御出仕賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。内容詳細については、別紙日程表にてご確認ください。

合掌

記

- 1 期 間 10月5日(木)初速夜から8日(日)結願日中まで
- 2 出仕対象 晨朝・速夜・日中：ともにどなたでも
*各組参勤御依頼日はあくまで目安であり、他組の方やその他の座(全組御依頼の座を含む)もぜひ御出仕ください
各組長に取りまとめをお願いいたしますので出仕希望の方は各組長にお申し出ください(9月末まで)
*三条エリアの方で出仕希望の方は、お手数ですが高田別院までご連絡ください。

3 各組参勤御依頼日

5日(木)	6日(金)	7日(土)	8日(日)
	初晨朝(7:00) 第6組	中晨朝(7:00) 第6組	結願晨朝(7:00) 第6組
	初日中(10:00) (入楽) 高田12組 高田13組	中日中(10:00) (入楽) 第1組・第8組	結願日中(10:30) (入楽)御参修 全組
初速夜(13:30) (入楽) 第2組・第3組 第5組	中速夜(13:30) (入楽) 第4組 高田11組	結願速夜(13:30) (入楽)御参修 全組	

- 4 刻 限 上記による *別紙日程表も参照ください
- 5 参集場所 別院会館 法中だまり
- 6 参集刻限 1時間前 但し晨朝は30分前
- 7 装 束 速夜・日中：裳附・五条袈裟・差貫・中啓・半装束念珠
晨朝：裳附・五条袈裟・中啓・半装束念珠

以上

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

▲今回は、三條別院のおめさじや行事にたびたびお参りにきていただいている坂井さんより執筆していただきました。

僕が初めて三條別院に行ったのは、令和元年の六月です。僕は、趣味でバンド活動や詩・俳句を書いていきます。文学や宗教に興味があり、三條別院のホームページに高校時代の後輩が、職員として紹介されていた事が、行き始めたきっかけです。いざ友人とお参りに行ってみると、少し前にその後輩は退職しており、会うことは出来ませんでした。その際、僧侶の方が、親切にお寺の中を案内して下さい、事務所で勤行本を購入することが出来て嬉しかったのを覚えています。

それから、時々、晨朝や定例法話・声明教室に参加するようになりました。祖母や母・バンドメンバーと一緒に法話に参加したり、僧侶の方やご門徒さんとも知り合いになることが出来ました。家族や友人と法話の内容を共有したり、わからない事を自分なりに調べたり、考えるようになりました。三條別院は、僧侶の方や参拝者の方と一緒に地域の方々が作ったお料理を食べる事が出来たり、難しいイメージの仏教を気軽に質問でき、居心地がよく安心できます。緊張感もあり、僕にとって大切な場所です。だからまた、三條別

院に行くかと思うんだと思います。三條別院に行くこと、僧侶の方の言葉を生で直接聞くことが出来ます。同じ言葉でも、本や動画で聞くより、直接、僧侶の方を目の前にして聞くとでは、言葉の重みが、全然、違います。もっと聞法したいという思いが出てきます。

法話を聞く中で、印象に残っているのは、「仏教は願いを叶えたり、死んだら良い所へ行くものではない、そうであって欲しいと思う自分の姿を問うものだ」と言う言葉です。僕はいつも、こうでないといけないと、色々な事を決めつけて、思い通りにならないと、すぐ、淋しくなってしまう。そう言う自分を知らされていくと、思い通りになる事だけが、良いことなのか、本当に、そうじゃないと、いけないのか、正しさってなんなんだ、答えは、一つじゃないんじゃないか、と、考えるようになりました。僕は学生の時、色々な音楽に出会って音楽の形は一つじゃないんだと思つたことからバンドを始めました。色んな形がある、真実は一つじゃない、そう言う所で、仏教は、音楽と凄く通じるものが、あるんじゃないかと思えます。

これからも、三條別院で、法話を聞いたり、色々な行事に参加したいと思えます。それでも自分の事として仏教を聞いていくのは難しいかも知れません。でも、だからこそ、聞法を続けて行きた

いと思えます。僕は、三條別院と出遇えて本当に良かったです。

坂井 成氏

新潟市在住。バンド Super Pork Frank で活動中。好きな熟語は「絆創膏・仏蘭西」。



【バンド「Super Pork Frank」で演奏する坂井氏と詩集「週末の匂い」】

○次回の「三條別院に想う」は、

松本 昭則氏 (佐渡組本龍寺)

より「執筆いただきます」。

定例法話会の「案内

毎月十三日の圃如上人のご命日にあわせて定例法話会を開催しております。

◆十月から十二月の講師

中山善雄氏

(第十四組寶國寺、元教学研究研究所研究員)



◆日時 十月十三日(金)

十一月十三日(月)

十二月十二日(水)

いずれも午後一時三十分〜午後一時三十分

◆会場 三条別院旧御堂

◆講題 「女人成仏と変成男子」

▲「たとい我、仏を得んに、十方無量不可思議の諸仏世界に、それ女人あつて、我が名字を聞きて、歡喜信樂し、菩提心を發して、女身を厭惡せん。壽終わりての後、また女像とならば、正覺を取らじ。」(『仏說無量壽經』卷上、『真宗聖典』二一頁)。阿彌陀如来は仏と成るために四八の願いを誓われた。これを本願と呼びます。そのうち三五番目の願いが右にある文章です。この願文は「女性差別」ではないのかと言われ

長年問題視されてきました。なぜ三五願が誓われなければならないのか。そのころは何か。教学研究研究所研究員であった中山善雄氏に、全三回でお話いただきます。

お取り越し参拝×市内産業観光ツアー

昨年より三条市と協力してお取り越し報恩講参拝を中心とした市内観光ツアーを計画しています。お取り越し報恩講に参詣して、世界に展開する三条市の産業を知って頂くことを目的としたツアーで、一日目は三条市の学芸員がバスに同乗していただき、解説していただきます。

◆期 間 十一月六日から七日

◆参加定員 四十名(二十名に満たない場合中止)

◆参加費 三万三千元(一泊二日食事四食つき)

◆締切 十月二十日(金)

◆高田別院から発着となりますが、三条別院集合・解散も可能です。参加費は同額となります。

◆詳しくは案内チラシをご参照ください。

◆主な日程

【一日目(お取り越し参拝)】

高田別院発(九時半)

三条別院着(お斎・御取越御膳)(十一時半)

絵解き法話・井野優介氏(十二時)

中速夜法要参拝(十四時)

御伝鈔(下巻)参拝(十五時)

夕食 松木屋(十七時五十分)

シアターサンジョーゴボー「よだかの星」観覧

(十九時三十分)

希望者は銭湯へ(二十時三十分)

越前屋ホテルに宿泊

【二日目(市内産業観光)】

越前屋ホテルで朝食

希望者は晨朝参拝 法話・朝倉安都子氏(七時)

三条市内の産業観光を「プラタモリ」燕三条編に

出演した学芸員が案内

三条市立図書館まちやま(隈研吉設計)等(九時)

スノーピーク・ワールド・スイート・スバ

(入浴・昼食)(十一時十分)

マルナオ・諏訪田製作所(十三時二十五分)

三条別院着(十五時)

高田別院着(十七時)



おみがき奉仕団のご案内

本年もお取り越し報恩講に向けて仏具のおみがき奉仕団を開催します。お取り越し報恩講に向けて大切なお荘厳の準備となりますので、ぜひご参加ください。

◆日時

第一回 十月二日(月)

第二回 十月十一日(水)

第三回 十月十八日(水)

いずれも午前九時から十二時

◆場所 教区同朋会館、三条別院本堂

◆内容 仏具のおみがき ◆参加費 無料

◆持ち物 念珠、勤行本、同朋手帳

◆申込方法 各開催日の3日前までに電話、またはメールにて三条別院(担当:松浦)までお申し込みください。

◆その他 昼食は三条別院が用意します。なお、お取り越しのスタッフ弁当の試食会を兼ねますのでふるってご参加ください。



みんなで、
みがこう！
試食もあるよ！



宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に「御命日のつどい」を本堂にて、日中法要と法話、その後座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 十月二十八日(土) 午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下
念仏讃 淘五

和讃 回口 次第六首

回 向 願以此功德

◎今月の法話講師

八田裕治氏・八田摩矢子氏(第十七組 淨福寺)

(一帖目第十通 「当山多屋内方」)

▲『御文』一帖目をテーマにしております。

▲十時半から十一時半まで法話。その後座談会を設けております。講師を囲んで語り合います。

◆今後の講師一覧

十一月 田村大輔氏(第二十組 専念寺)

十二月 橘出氏(第十八組 久唱寺)

【募集中】御正忌団体参拝のご案内

本山御正忌報恩講団体参拝のご案内です。大型バスにて新潟駅を出発して、上越経由で北陸道を通って京都に向かいますので、ご希望の乗降インターがあればご相談ください。

◆期 日 十一月二十七日から二十九日

(二泊三日)

◆参加費 六八,〇〇〇円

◆申込締切 十一月十七日(金)



【上から坂東曲、比叡山、雄山荘】

▲二十八日の結願日中に参拝します。一泊目は京都市内、二日目はおごと温泉(雄山荘) 宿泊です。二日目の午後は京都嵐山観光。その他、西本願寺・比叡山にも参拝予定です！ 別院職員(担当:小原)が詳しくご案内します。詳しくは案内チラシをご覧ください。

フードバンクを継続中

―八月の別院でのフードドライブにご協力いただいた御寺院・御門徒―

第二十組 警慶寺、佐渡組 専得寺

その他、匿名含め多くの方々に協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は十月二十四日(火)です。

その他の講座案内

○別院声明教室

昼の部 (午後三時～五時)

講師 別院列座

夜の部 (午後六時～八時)

講師 橋 宗真氏 (第二十組頭了寺)

開催日 八月二十一日(月) (済)

九月十一日(月) (済)・十月十日(火)

十一月十四日(火)・十二月十一日(月) (全五回)



○別院書道教室 (東友会)

「毎月第二、第四水曜日、午後六時三十分～八時」

講師 木原 光威氏 (新潟県書道協会理事)

月謝 三,二〇〇円 (テキスト代含む)



【東友会から作品展に参加】

随時募集中

○有志の会座講「毎月十三日」

一緒に別院のお庭を整備していきませんか?

毎月十三日十時から、午後は定例法話を聴聞します。

○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、聞法会を開催しませんか?

○別院奉仕研修について

【奉仕研修参加金】

一人あたり半日(午前または午後 五百円、一日千円)

一泊二日は上記の参加金に順じて半日五百円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼。なお、列座によるお内仏のお給仕・法話は研修参加金に含まれる。

②シーツ等クリーニング代千円

③食事代(ご要望等)ございましたらご相談承ります。

○団体参拝及び諸般控について

七月に新教区となり、高田エリアのご寺院から団体参拝も増えてきました。三条別院では団体参拝を常時お受けしています。列座がご案内いたします。日程等、お気軽にご相談ください。

なお、お取り越し報恩講に団体参拝される場合は、お斎(御取越御膳)の有無、参拝人数、バスの種類と発着時間(5日、6日は留置不可)、引率責任者の氏名、住所、携帯電話番号、法要出仕の有無を必ず事前にお知らせください。



【御取越御膳試食会(教化部)】

◆編集後記◆

先月の別院秋彼岸会では、富山教区の太田浩史先生にお越しいただき、越後の異安心事件についてお話をいただいた、と思う。「思う」というのは、この編集後記執筆時点でまだ別院の秋彼岸会は始まっていないからである。

我々別院職員と太田先生がいかにして出遇ったのか、そのことについては先月廣河がこの編集後記で詳細に綴っている、詳細は省くが、(まだ読んでいない方がいたら是非読んでいただきたい)今年の五月、中央声明講習会受講のため私と廣河はとらみ詰所に宿泊していた。ある日、私が詰所に帰つてくると、廣河が誰かと詰所の広間で談笑していた。「あれ、廣河くん誰と話してんだろ?」と思つていたら詰所のおかみさんに呼ばれ「明日の晨朝法話でお話しされる太田先生が来てるから、あんた挨拶しなさい」と、廣河と全く同じシチュエーションでその席についた。

太田先生のお話は、三条別院創建のきっかけとなった越後の安心事件を、我々が聞いてきたものと全く別の視点から語られているのが非常に斬新に感じられた。この「別の視点」に私も廣河も引き付けられ「この人、絶対に三条に来て話してもらいたい!」と思つたのである。

その時の出遇いから約四ヵ月。ついに別院秋彼岸会で太田先生の話の聞けると思うと今からワクワクである。思えばあの時、太田先生から「あんたたちは声明を学びに来とるんやろ。声明を学ぶもんは教学もしっかり勉強しなさい」とのお言葉を頂いた。その言葉のおかげで、私は無事に中央声明を終えることができたと思つている。その時のご恩に報いるために、我々の職場である三条別院ができた経緯、歴史、異安心事件とは何だったのかをしつかり学び直したいと思う。(小原)